

## 災害時にSNSを活用しよう！



メディアの情報、警察や消防、市役所からの連絡など、緊急情報を得る手段は様々です。そこで、いま注目が高まっているのがSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の情報です。

SNSは、インターネットを経由し、オンライン上で世界中の不特定多数の人と交流することができます。(SNSの例：LINE、Facebook、Twitter、Instagramなど)

今回は、災害時に役立つSNSの一つであるLINEの機能を紹介します。例えばLINEには、「既読マーク」があり、相手が緊急事態で返信すらできなくてもメッセージを読んだことが伝えられます。

### ○大事な情報は「アナウンス」でピン留め！

トークの中に出てきた重要な情報は、「アナウンス」機能でトークルームの上部にメッセージで固定しておくことで、トークルームで会話が流れてしまってもすぐに見つけることができます。

相手が、トークルームを開けば常時メッセージが表示されますので、まだ既読がつかない相手へ避難場所や現在地などを知らせる際にもお使いいただけます。(図1)

図1



図1 「アナウンス」機能は、固定したいメッセージを長押しし、アナウンスと書かれているところを押すと、トークルームの上部に固定されます。

### ○自分の居る場所を知らせる「位置情報機能」！

LINEのトーク(メッセージ)で自分のいる場所の住所と地図を送ることができます。トーク画面の「+」マークから「位置情報」を選ぶと地図が表示されます。

スマートフォンのGPS機能※1をONにしていれば、自分の居場所が表示され、そのままトーク画面に送ることができます。※2(図2)

(※1) GPSとは人工衛星(GPS衛星)から発せられた電波を受信し、現在位置を特定するものです。

(※2) LINEは、電話回線が繋がらない場合にも、インターネット回線が繋がっている状態であれば、トーク・タイムライン・無料通話は可能です。

図2

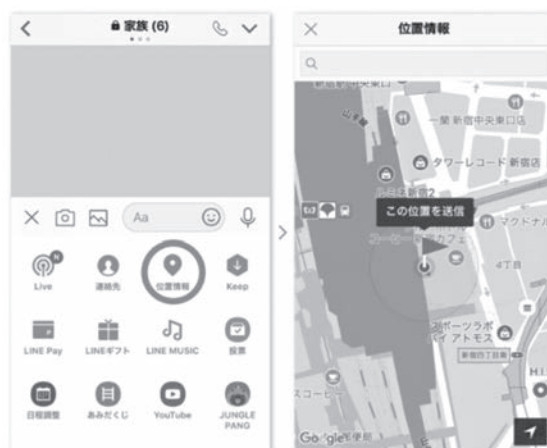


図2 「GPS機能」は、トークを開いて「+」を押すと「位置情報」と書かれているところがあるので、それ押してください。

### ○緊急時の機能を使う！

大規模災害が発生した際に届くLINEのメッセージから、自分の状況をタイムラインで知らせることができます。(図3)

#### 【使い方】

- ①「LINE」という名前の公式アカウントから対象ユーザーに自動でメッセージが届きます。メッセージ内の3つの選択肢から、自分の今の状況を選んでタップしてください。
- ②タップした内容にあわせてタイムラインへの投稿入力画面が表示され、「投稿」ボタンを押せば投稿完了。
- ③LINEのタイムライン上で自分の無事や被害状況を知らせることができます。

図3



図3 この機能は、大規模災害発生時のみ、LINEに自動で表示されます。